

# 宮内庁における主な取組

宮内庁

# 宮内庁における主な取組①

## 桂離宮の公開拡充

### <これまでの取組>

- 当日受付の実施・土曜日曜の実施
- 5か国語（英・中・仏・韓・西）音声ガイド無料貸出
- 参観要領の5か国語版の配布

### <11月1日より>

- 参観ツアーの頻度を増やすことで、1日定員を最大480人に（←210人から増加）
- 外国人専用の回を設け、英語ガイドが行うツアーを開始
- 中学生・高校生の入場を開始（入場料無料）
- 参観料1人1回1,000円の徴収開始



### <今後の取組>

- サービス水準の更なる向上と適切な維持管理の実施
- HPの多言語化（6か国語）

## 皇居一般参観（ガイドツアー）

### <これまでの取組>

- 一般参観の通年実施（火～土曜2回/日、ガイド有、当日受付有）
- 日本語を含む6か国語音声ガイドの充実
- 外国人向け英語ガイドツアー実施（H30.5.1～）

### <11月1日より>

- 外国人向け中国語ガイドツアーを本格開始



### <今後の取組>

- サービス水準の更なる向上（参観者からのフィードバックに基づく説明内容の工夫等）
- HPの多言語化（6か国語）

# 宮内庁における主な取組②

## 皇居乾通り秋の一般公開



### <これまでの取組>

- 平成29年秋より乾通り一般公開を再開
- 昨年秋の通り抜けは22.6万人が参観

### <今回の取組>

- 12月1日～9日の9日間（土日2回含む）実施
- 実施時間を90分延長（9:00開始、15:30最終退出）
- 英語ガイド・中国語ガイドを適所に配置し、外国人参観者の質問対応等を実施

### <今後の取組>

- **外国人参観者からのよくある質問等に答えられるよう、準備を進める**

## 三の丸尚蔵館

### 宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品の保存・公開の在り方に関する有識者懇談会提言（平成30年6月27日）

座長：宮田 亮平 文化庁長官  
特別顧問：高階 秀爾 大原美術館館長

#### <主な内容>

- 皇室由来の貴重な美術品を保存・公開する役割・機能の充実
- 収蔵・公開・学芸機能の一体的整備と情報発信機能の強化

#### <今後の取組>

- **平成34年（2022年）のI期開館・平成37年（2025年）の全館開館を目指す**
- **準備期間中も、他館への貸し出し拡充を検討**
- **提言を踏まえ、新施設にふさわしい活動計画（展示計画、貸出等）の検討加速**

### 日本美を守り伝える「紡ぐプロジェクト」 —皇室の至宝・国宝プロジェクト—



狩野永徳「唐獅子図屏風」  
宮内庁三の丸尚蔵館蔵

#### <今後の取組>

- **平成31年春、特別展 御即位30年記念「両陛下と文化交流—日本美を伝える—」（東京国立博物館）等の展覧会**
- **両陛下ゆかりの品々のほか、酒井抱一「花鳥十二ヶ月図」・狩野永徳の「唐獅子図屏風」などを出品予定**

# 宮内庁における主な取組③

## 皇居東御苑



- この度の大嘗祭（ご即位の年の11月）に当たっては、できるだけ二の丸地区の公開を継続できるよう、検討する。

## 参考：その他の主な取り組み

### <京都御所>

- 一般公開に再編（平成28年～）
- 土曜・日曜も含めた公開（平成28年～）
- 希望者にガイド案内実施（平成28年～）
- 音声ガイダンスの多言語化（平成29年～）

来訪者数

38万人（平成24年度） → **70万人**（平成29年度）

### <皇居東御苑>

- 富士見多間内部の公開（平成28年～）
- 富士見櫓前の開放（平成28年～）
- 音声ガイダンスの多言語化（平成29年～）

来訪者数

81万人（平成24年度） → **148万人**（平成29年度）